



↑おもちゃを製作した勝山高等学校麓山校地3年生
(写真左から杉村美紗都さん、永田陽菜さん、奥田日和さん)



手作りおもちゃで遊ぶ園児達
(八束こども園)



「家庭コース」授業を選択した勝山高等学校麓山校地3年生の生徒5名が、昨年度の10月～3月に、地域型福祉学習事業(*1)助成金で、お手玉やフェルトを使用したおもちゃを製作しました。

このおもちゃは、八束こども園と川上こども園の園児達へプレゼントされました。

おもちゃを製作した生徒達にお話を伺いました。

■製作したきっかけ

毎年こども園で保育実習がありますが、昨年度は新型コロナウイルス感染症により実習ができませんでした。でも、今までのつながりを大切にして交流を途絶えさせたくないと思い、他にできることはないかと考え、こども園に手作りのおもちゃをプレゼントすることに決めました。

■製作に込めた思い

こども園に置いているおもちゃにはないようなアレンジをしました。小さい子ども達が手に取った時、ワクワク楽しんでくれるものは何かと考えながら作りました。

■製作で感じた喜び

直接交流ができなくて残念でしたが、自分達が作ったもので喜んでくれたので、私達も嬉しかったです。このおもちゃで子ども達と一緒に遊びたいです。今後もこの機会を活かして、人に喜んでもらえるような活動をしていきたいです。

手作りおもちゃのプレゼントを受けた 八束こども園 園長 山本久美子先生より

手作りのおもちゃを通して、高校生と交流することができたと感じています。園児達は嬉しそうな表情をしながら、おもちゃで楽しく遊んでいます。コロナ感染が収束して、以前のように交流できる日がくることを願っています。



フェルトのおもちゃ
(ままごとセット)



フェルトのおもちゃ
(つみき)

(*1) 地域型福祉学習事業は、小・中・高等学校を対象に、福祉学習プログラムの提案や福祉体験講座の開催等、福祉の学びやボランティア活動を通して、他者に寄り添う気持ちや育む助成事業です。

「夏のボランティア体験」参加者募集中!!

社協は、7月～8月の夏休み期間に、市内のこども園や高齢者・障がい者・児童施設等の協力を頂き、「夏のボランティア体験事業」を実施します。

昨年度は新型コロナウイルス感染症に伴い、夏のボランティア体験事業を中止しましたが、今年度は感染防止対策をとり、活動を行います。

ボランティア活動を通じて、福祉についての理解を深め、新しい出会いや発見から「ともに生きていく」視点について考えましょう。

募集要項

★対象者

ボランティアに関心のある真庭市内の中学生・高校生

★募集期間・定員

期間:令和3年5月24日(月)～6月11日(金)まで

定員:190名 ※地域別に定員を設けます。定員になり次第募集を締め切ります。

| (名) | | | | | |
|-----|----|----|-------|----|----|
| 北房 | 落合 | 久世 | 勝山・美甘 | 湯原 | 蒜山 |
| 30 | 60 | 35 | 30 | 15 | 20 |



★ボランティア活動期間・活動場所

令和3年7月20日(火)～令和3年8月31日(火)

各学校、社協ホームページにある受け入れ先一覧から活動場所を選びます。

※受け入れ施設と調整を行い、上記期間の希望日で活動を行います。

★ボランティア活動内容

密を避け、感染予防に配慮した活動を行います。

例)ものづくり、おたより訪問のはがき作製等

【受け入れ施設・団体(予定)】

- ・幼児、児童関係17か所
(こども園、児童クラブなど)
- ・高齢者関係2か所
(施設、デイサービス)
- ・障がい者事業所3か所
- ・図書館 1か所

★参加申込

参加申込書に350円(ボランティア活動保険料)を添えて、最寄りの社協まで提出してください。参加申込書は、各支所に備え付けています。

★注意点

- ・マスク着用で参加してください。
- ・手洗い、うがい、アルコール消毒をこまめに行ってください。
- ・発熱や風邪症状等がある場合は必ず休んでください。



体験のながれ

6月11日まで

参加申込

申込書に必要事項を記入し、学校または最寄りの社協に提出します。

6月下旬
7月中旬

事前研修・活動調整会議

参加者はボランティア活動の詳しい流れ等の説明を受けます。また、受け入れ施設と参加者が活動の注意事項、活動日、活動内容について確認をします。

7月下旬
8月中旬

ボランティア体験

自分自身の目標や課題を設定して、ボランティア活動に取り組みます。1日の活動を振り返り、明日からの活動に活かします。

8月中旬
8月末

事後研修

活動を通して感じたことや成果、今後の抱負等を参加者で話し合い、体験をより有意義なものとしします。

問い合わせ先:社協本所 TEL 0867-42-1005 FAX 0867-42-2263

出前サロンを開催しました!!

落合地域から
こんにちは!



山本陽子専門員

【サロンを立ち上げてみて】

ふれあいいきいきサロン「^{らくゆうかい}楽遊会」
(下日名)代表者より

皆さんが「楽しみに待っていた」と喜んでサロンに来てくれるので、思い切って立ち上げてよかったですと思います。



↑体操に取り組む「楽遊会」の参加者

昨年度、落合地域では、ふれあい・いきいきサロンの代表者や地域の方から、「コロナのため思うように活動ができなかった」「コロナ禍で人と会う機会が減った」という話をたくさん伺いました。そのような状況の中でも「コロナ禍だからこそ、サロンを始めたい」「サロンを再開したい」という相談も増えており、生活支援コーディネーターとともに、サロンの立ち上げ支援や活動が継続できるよう取り組んでいます。

2地域で、サロン体験ができる『出前サロン』を行い、4月から体操や茶話会等を定期的に行うサロンとして、活動を始めています。3密を避け、感染予防対策をとりながら、サロンを開催しています。

地域のつながりを途絶えさせないように、「withコロナ」でもできる活動を一緒に考え、今後も安心してサロンに参加していただけるよう、活動支援を行っ

きょうちゃんの お知らせ

今回は、新たに加わった社協職員を紹介するよ!!



真庭市社協イメージキャラクター「きょうちゃん」

★ 新人職員紹介 ★ よろしくお願ひします☆

今年度から新採用となった職員3人に、「福祉の仕事を目指したきっかけ」や「これから仕事をやる上での抱負」についてインタビューしました。

住みやすい地域を目指して頑張ります!!



↑写真左から松岡専門員、川口専門員、藤井専門員

【松岡聡子専門員】(北房地域担当)

社協で多くの人とつながりを作り、人と人を結ぶ福祉の仕事がしたいと思いました。

地域の方とともに福祉活動の基盤づくりや、その支援を行っていききたいです。少しでも早く顔を覚えて頂けるよう、笑顔で挨拶し、信頼関係を築いていきたいです。

【川口直仁専門員】(久世地域担当)

高校生の時にボランティア活動で高齢者と接する機会があり、福祉の仕事に興味を持ちました。

これから積極的に地域に出て行き、顔を覚えて頂けるよう頑張りたいです。また、どんなことでも話しやすいと思ってもらえる職員になりたいです。

【藤井勇汰専門員】(湯原地域担当)

幼い頃から祖父母に可愛がられ、高齢者が好きになりました。真庭地域に貢献し、高齢者と関わる仕事に就きたいと思いました。

まずは、顔と名前を覚えて頂けるよう集いの場等に積極的に参加したいと思っています。

広報担当の
つぶやき

今年も梅雨の時期がやってきましたね。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期です。コロナの感染対策もしっかり行い、元気に過ごしましょう★



真庭市社協HP

発行所: 社会福祉法人 真庭市社会福祉協議会 〒719-3201 真庭市久世2928 Tel 0867-42-1005 Fax 0867-42-2263
http://www.maniwa-shakyo.or.jp E-mail: m.shakyo@gmail.com